

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラポアフタースクール鹿児島		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談支援事業所と連携した療育を行っている	定期的に相談員と児童の特性等の情報共有を行っており、より個々の児童・生徒に合った支援計画を立てることができている。また児童に緊急事態が発生した場合には相談員と連携して対応している。	相談支援事業所が開催しているスタッフ向けの研修会や勉強会に参加し、スタッフの専門知識やスキルを向上させる。
2	IT療育に特化している	興味関心に合わせたPCを使った活動により楽しみながら学ぶことができている。学習に対する苦手意識を克服し学習意欲を高めることにつながっている。	来年度に向け、当社は児童向けにAI学習を提供する体制を構築いたします。またLEGOスパイクを活用したプログラミング学習を通じて、子ども達の創造性と問題解決能力を育みます。
3	保護者と日々の情報共有ができている	送迎時にお伺いした相談事項などは事業所に持ち帰り次第、職員間で情報共有を行い、迅速に対応しています。深刻な相談に関しては守秘義務を守ったうえで個別に面談を行い、保護者の不安の解消に努めています。	今後も相談しやすい関係作りに努め、皆さまの気持ちに寄り添った丁寧な支援が出来るよう努めてまいります。保護者が抱える困りごとについても適宜ヒアリングを行い、職員間で情報共有できるような体制作りを行ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの不足	家族に向けた研修を実施する体制が不足していたため、実施ができておりませんでした。	職員向けのスキルアップ研修を通じてペアレントトレーニング実施のための体制づくりを行い、保護者にとって有益な情報提供ができるよう努めてまいります。
2	保護者へのマニュアルの周知不足	保護者から質問があった場合はその都度回答していましたが、周知が不十分であったと感じております。	モニタリングや面談の際にマニュアルについての説明を改めて実施することで、情報提供を行ってまいります。
3	地域のこどもとの交流機会がない	コロナ禍から止まっていた活動がそのまま続いて停滞したままになってしまっておりました。	今後は積極的に地域連携活動を行い、地域の子供達と交流する機会を提供できるように努めてまいります。